

溝上慎一の教育論(動画チャンネル) No305

(新著の紹介)

鉄オタ集結！鉄オタ倶楽部  
「好き」を強みに♥・ 発達障害のある子の居場所  
富井奈菜実先生（奈良教育大学准教授）

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問  
東京大学大学院教育学研究科 客員教授

<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、講師、准教授、2014年教授を経て2018年に桐蔭学園へ。桐蔭横浜大学学長（2020-2021年）。京都大学博士（教育学）。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画チャンネルは溝上が個人的に作成・提供するものです。

※公益財団法人電通育英会の助成を受けて行われています。

※本動画では字幕を付けていませんので、必要な方は「設定」で「字幕オン」にしてご利用ください。

## (ご紹介)



富井奈菜実

とみい ななみ

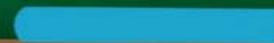
奈良教育大学 学校教育講座・特別支援教育研究センター・准教授

長野県生まれ

立命館大学大学院社会学研究科博士後期課程修了・  
博士（社会学）

専門は発達心理学、障害のある子どもの発達  
現在の研究テーマは、学童期の発達の質的転換期と  
その診断法

\*奈良教育大学教育研修コンテンツ  
「こだわり」を強みに：自閉スペクトラム症児のための鉄オタ倶楽部





富井奈菜実・越野和之・別府哲 (2024). 鉄オタ集結！－「好き」を強みに♥・発達障害のある子の居場所「鉄オタ倶楽部」－ クリエイツかもがわ

- 1 鉄オタ倶楽部の取り組み（富井奈菜実）
- 2 子どもたちに聞いてみました！
- 3 活動からみえる子どもたちの思い・願い（富井奈菜実）
  - (1) 「こだわり」の姿の中にある子どもたちの 思い・願い
  - (2) 「他者」の存在
  - (3) 自分づくり
  - (4) 「好き」を軸にすえた活動の意義
- 4 保護者の思い
- 5 鉄オタ倶楽部の発達の意義（別府哲）
  - (1) 「こだわり」ではなく、「好き」ととらえる
  - (2) ASDに関する誤解（その1）
  - (3) ASDに関する誤解（その2）
  - (4) 鉄オタ倶楽部とソーシャルスキル
  - (5) 鉄オタ倶楽部と人格形成－アイデンティティの確立
  - (6) とことん楽しむ

**No253**

# **自閉症者のユニークな心の理解**

他者からの是認が得られれば  
自閉症者も経験へ開かれていく

**別府哲先生**

**(岐阜大学教育学部教授)**

溝上慎一の教育論「動画チャンネル」(基本的に毎週水・土に配信しています)

それではご覧ください

発達障害のある子の居場所「鉄オタ倶楽部」

# 鉄オタ集結!

富井奈菜実・越野和之・別府 哲 編著  
奈良教育大学特別支援教育研究センター 協力

# TETSU OTA



<https://www.creates-k.co.jp>

# 鉄オタ集結！

「好き」を強みに♡  
発達障害のある子の居場所  
「鉄オタ倶楽部」

奈良教育大学特別支援教育研究センター  
富井奈菜実

## 鉄オタ倶楽部

- 特別支援教育研究センターが実施する集団プログラム（2018年開設、現在7年目）
- 発達障害(主にASD。知的障害はない) があり、鉄道を愛してやまない子どもたち。（2024年春では現役メンバー10人、卒業生サポーター3人）

# 「こだわり」を「好き」ととらえる

- ASDの特性：コミュニケーションの障害、「こだわり」
- 時に、行動が切り替えられない、他者との交流を困難にさせるなどネガティブなものとしてとらえられ、「こだわり」を減少・消失させることが指導上の目的とされる場合がある  
→子どもたちが強い興味を示すもの、大好きなものとして、ポジティブにとらえ直す
- 鉄道趣味を思いっきり仲間と共に楽しむことを通して…
  - ✓ ソーシャルスキルを育む
  - ✓ 自分らしく過ごす・自分らしさを感じ取る

# プログラム

- **定例会**

プログラムのベース。月1回、2時間。

前期（春夏）：イベントの企画・実施。

後期（秋冬）：3月に成果発表会を企画。  
ジャンルごとにグループをつくり、準備を進める。

- **成果発表会**

メインイベント。2～3時間、大学の大きな教室を借りて実施。

一般公開。宣伝は子どもたちにも。

# プログラム作成の留意点

大西他（2021）

- ① ASDの特異な関心の持ち方を強みとして利用すること
- ② 類似性の高いメンバーを選定すること
- ③ 小学生から高校生までが継続的に参加できる異年齢混合集団
- ④ メンバーと同等かそれ以上の知識を持つスタッフがいること
- ⑤ ASD独自の認知特性に十分な配慮がなされていること

大西貴子・富井奈菜実・中西陽・小松愛・根來秀樹(2021)

「自閉スペクトラム症のこだわりを生かした社会性促進プログラム-奈良教育大学「鉄オタ倶楽部」の開発-」  
児童青年精神医学とその近接領域62(2) pp. 241-258.

# 子どもたちの思い・願い



Fくん

(卒業生サポーター)

## Q2 鉄オタ倶楽部に入りたいと思った理由は？

中学生の頃、あまり同じ鉄道好きの子がなくて、その時、別の同じ考えをもった子との交流もやりたくて、この鉄オタ倶楽部に入りたいと決めました。



日野くん

(高校生)

## Q2 鉄オタ倶楽部に入りたいと思った理由は？

やっぱり一番思うのは、電車が好きな人同士でいろいろ話せるというところかなと思います。

自分は小中高と来てるんですけど、ほとんど電車が好きな友達と会ったことがなくて、あんまり語り合える場がなくて。必要としてないのに、友達にいろいろばつと話してしまってちょっと引かれるということがありました。

## 子どもたちの思い・願い

- 鉄道への強い興味・関心の中には、わかりあえる仲間・場が欲しいという思いや願いが内包されている
  - 「すっきりする」「学校とかに少しでも話せる人がいなかったからこういうのがあってうれしい」「同じ趣味の人は話をすると自分の話がわかるので楽しいです」
  - 一方で、普段の仲間関係においては、満たされない思いがあったり、さらに鉄道の話は「引かれる」要素になってしまったりする
- 鉄道趣味がネガティブなものとしてとらえられてしまう

# 子どもたちの思い・願い



咲人くん

(卒業生サポーター)

**Q2** あなたにとって鉄オタ倶楽部とは？

自分の趣味を共有できる場所だと思っています。



大輝くん

(高校生)

**Q2** あなたにとって鉄オタ倶楽部とは？

居場所、ぼくらの居場所っていうのかな。そんな感じかな。



まるはちくん

(高校生)

**Q2** あなたにとって鉄オタ倶楽部とは？

まわりに鉄オタの友達がない自分にとっては、生きがいみたいなものです。

「好き」を強みにした場の意義

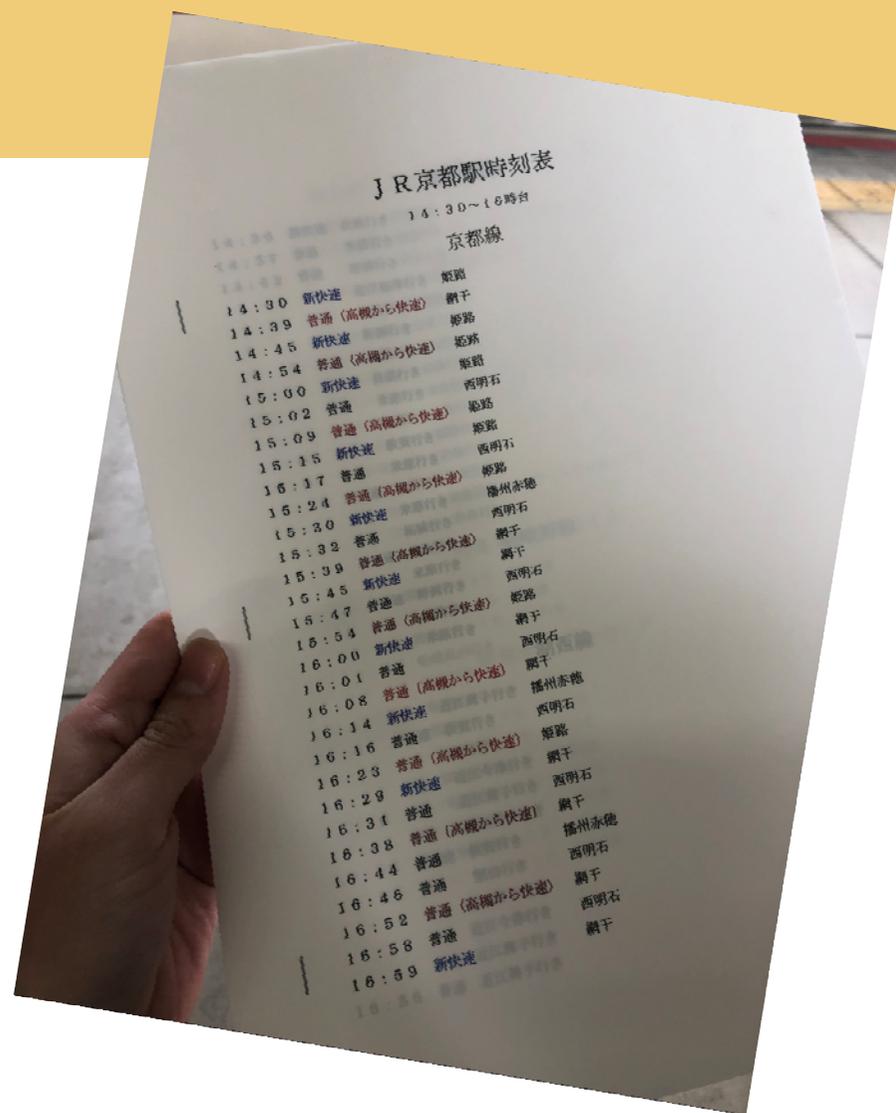
# ソーシャルスキルの形成

✓ コミュニケーションの「困難さ」はそう目立たない  
(豊かに人とやり取りする姿がよく見えてくる)

✓ 仲間との活動を通してより豊かに

## ■ 仲間のために (日野くん)

- 仲間と一緒に
- 仲間のために
- 「引かれた」ことがある日野くん



# ソーシャルスキルの形成

## ■ 鉄オタ倶楽部の「ソト」でも



Fくん

(卒業生サポーター)

### Q3 鉄オタ倶楽部に入って変わったことは？

まだ少しちょっと苦手ではありますが、自分からでも話していけるようになったところです。



日野くん

(高校生)

### Q3 鉄オタ倶楽部に入って変わったことは？

(鉄オタじゃない) 友達と電車の話をするというのを、結構なくすことができたなと思っています。

言っても、みんなでお出かけとか、行事でどこかへ行く時にこう行ったらいいんじゃないのというふうに提案したりとか、何で好きなの？と聞かれた時に、ワッて話すくらいはあるんですけど、関係なく話すことは完全になくすことができた。

ここに入れてよかったなと思っています。

# 自分らしく

- ライバル視してるねん
  - エイトくん→日野くん 「結構ライバル視してるねん（笑）」
  - 引かれてしまった自分→ライバルとして対等に、尊敬される存在に

# 自分らしく

## ■ 「自分らしく」・素の自分への自信

### QUESTION4

---

鉄オタ倶楽部が子どもたちの生活の中で  
どんな存在になっているか改めてお聞かせください

岡本 >>> 鉄オタ倶楽部は、あの子にとってなくてはならない存在になっています。

鉄オタ倶楽部以外の子どもたちには、ちょっと気を使ってしゃべっている感じがありますね。鉄道の話をするにもある程度は言葉を選んでいるし、接し方にも気を使っていると思います。でも、鉄オタ倶楽部の子どもたちと話している時は自然体というか、素の自分というか。鉄道の話に限らずそういうふうに話していて、すごく積極的で楽しそうに見えます。

# 自分らしく

## ■ 自分らしさが認められること →コミュニケーションの豊かさにも

### QUESTION2

---

鉄オタ倶楽部で活動するようになってから、  
ご家庭や学校で変化したことはありますか？

岡本 >>> 鉄オタ倶楽部に入るまではどちらかというと、鉄道が好きなことを学校のみんなには隠していました。ちょっと恥ずかしいという気持ちもあったのかもしれませんが。でも、鉄オタ倶楽部に入ってから、学校でも鉄道が大好きと公言するようになって、鉄道の知識も自信をもって話すことができるようになりました。それが本人の強みになって、さらに自信をもってお友達とのコミュニケーションがとれるようになったと感じています。

## 別府哲：鉄オタ倶楽部の発達の意義

素の自分をわかってもらえる体験が、まずわかってくれた相手（ここでは鉄オタ倶楽部のメンバー）をよりわかりたい願いを生み出すだけでなく、自分とは異質な他者ともわかり合いたい願いを生み出す契機になったことを教えてくれます。そしてそれが素の自分をわかってもらった経験と他者を広げ、さらに多くの異質な他者とわかり合いたい願いを強める、そんなポジティブな循環を生み出していると考えられるのです。（p.99）

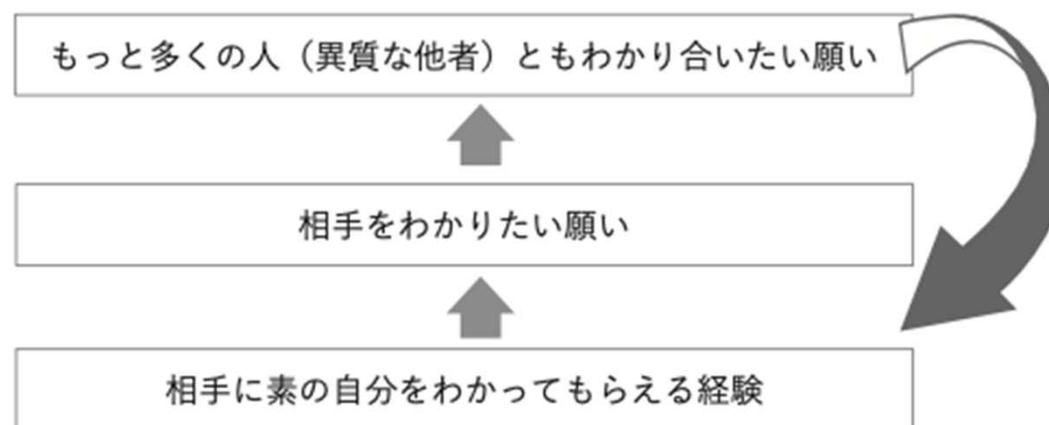


図1  
素の自分をわかってもらえる経験と異質な他者とわかり合いたい願いの関係

## 「好き」を強みに♡

- 「好き」が無条件に受け入れられる場で、安心して“自分”を出せる  
☞「生きがい」や「居場所」
- 自分らしさが出せなかったり、他者との関係づくりに苦勞してきた子どもたち  
☞ 自分らしさを保ったまま、他者との関係を豊かに築いていく
- こんな自分になりたい、もっと～したい、と願いをさらに膨らませていく  
☞ 結果として、ソーシャルスキルや、自分の行動を調整する力が育まれる

で「好き」が大切にされる場が広がることを願って

「好き」を強めて♡

# 鉄オタ 集結!

発達障害のある子の居場所「鉄オタ倶楽部」

富井奈菜実・越野和之・別府 哲 編著  
奈良教育大学特別支援教育研究センター 協力

# TETSU OTA



<https://www.creates-k.co.jp>

## 奈良教育大学教員研修コンテンツ



実際の子どもたちや活動の様子、  
メンバーや保護者の語り、  
別府哲先生の解説が何度も観られる!  
(有料コンテンツです)